

# 令和3年 第3回全員協議会会議録

令和3年4月15日 議員控室

## ○事 件

町長報告事項

(1) 相生医師住宅の買取について (総合病院)

## ○出席議員 (13名)

議長	能登谷 正 人 君	副議長	黒 島 竹 満 君
	関 口 正 博 君		佐 藤 智 子 君
	横 田 喜世志 君		大久保 建 一 君
	斎 藤 實 君		赤 井 睦 美 君
	三 澤 公 雄 君		牧 野 仁 君
	安 藤 辰 行 君		宮 本 雅 晴 君
	千 葉 隆 君		

## ○欠席議員 (1名)

田 中 裕 君

## ○出席説明員 (7名)

町長	岩 村 克 詔 君	副町長	吉 田 邦 夫 君
副町長	萬 谷 俊 美 君	総務課長	三 澤 聡 君
財務課長	川 崎 芳 則 君	総合病院事務長	成 田 耕 治 君
庶務課長	竹 内 伸 大 君	医事課長	石 黒 陽 子 君
地域医療連携課長	長谷川 信 義 君	地域医療連携課参事	加 藤 孝 子 君

## ○出席事務局職員

事務局長	井 口 貴 光 君	事務局次長	成 田 真 介 君
庶務係長	松 田 力 君		

[ 開会 午前10時36分 ]

◎ 開会・議長挨拶

○議長（能登谷正人君） それでは、第3回全員協議会をはじめさせていただきます。議長挨拶は割愛させていただきます、早速、町長報告事項に入りたいと思います。

◎ 町長報告事項

○議長（能登谷正人君） 課題は、相生医師住宅の買取についてでございます。説明をお願いいたします。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 臨時会の終わったあとに、全員協議会を開いていただきありがとうございます。

この医師住宅についてですね、令和元年の11月から、あまりにも賃料が高いということで、持ち主であります林さんと打ち合わせをして、やっと15万下げてくださいということでもありますけども、まだ改良しないと、これからまたその時点で15年以上の長きに渡っての賃料が発生するというので、林さんとはその時点から買い取る話をしてきました。この6か月くらいですね、特に値段交渉でいろいろ議論をしながら最終的に金額的にまとまってきましたので、買い取りたいということで考えています。この値段について言ってもいいんでしょうか。

○9番（三澤公雄君） そこは聞きたいところだよな。

○町長（岩村克詔君） わかりました。金額的にはですね。

○議長（能登谷正人君） 確認しておきますけども、決定したわけではないんですか。

○町長（岩村克詔君） 一応、買い取るとすれば、この金額ということでは話し合っておりますけども、あくまで議会が通らないとというのを林さんにも話していますので、金額はあくまでも林さんと私との話し合いの中の、ただ、またこれもずるずるいくとですね、毎月、毎月400万円以上家賃が発生しますので、話し合いをすればするほど、延びるほどまたどんどん、2か月の場合1,000万近く上がっていくということを考えると、一応税込みで5億1千万、税別でいくと4億6千万くらいということでもありますので、今この資料にもあるとおりですね、これから残額が6億9,562万5千円を支払うということを考えると、この今の町の財政から言うと買ったほうがですね、この約15年後もですね、病院の財産になることを考えると、私は買ったほうが財政的にも良いのではないかとということで、今交渉してきたということで、金額的には5億1千万円税込みということで考えていただければと思います。

それと、今15万下げたときにですね、多少病院のほうからですね、医師の出入りは病院側でやっていますので、これから出てくる管理料にしたら、除雪等々を考えると月10万円程度で、120万円くらいかなということ想定しながらですね、管理費はかかるんじゃないかということを考えていますので、ご理解をいただきたいと思います。以上であります。

- 議長（能登谷正人君） 説明が終わりましたけども、何かご質問がありましたら。
- 3番（佐藤智子君） 議長、佐藤。
- 議長（能登谷正人君） 佐藤さん。
- 3番（佐藤智子君） その予定価格は一括で支払うことになるんですか。
- 町長（岩村克詔君） 議長、町長。
- 議長（能登谷正人君） 町長。
- 町長（岩村克詔君） 一括で払おうという考え方をしています。できればですね、一般会計から病院に特別繰入ということで、繰入をして買ったほうがいいだろうということで、今、八雲町の財政からいくと、5億1千万円が、病院に繰入れても当面財政には影響がないと。ただ、皆さんご存じのとおり、この5億をですね、15年貯金していても金利がそんなにつきませんので、私はこのほうが本当に医師住宅については、地団駄踏みながら決定したということで、何とかいい方法で、私が今これが今考えられる最良な方法化と考えるので、よろしく願いいたします。
- 議長（能登谷正人君） ほかにありませんか。
- 9番（三澤公雄君） 議長、三澤。
- 議長（能登谷正人君） 三澤君。
- 9番（三澤公雄君） ちょっと一点、知識として知りたいんですけども、サンピリカさんから入っている固定資産税はどれくらいなんですか。
- 町長（岩村克詔君） 議長、町長。
- 議長（能登谷正人君） 町長。
- 町長（岩村克詔君） 160万円くらいかな。100万ちょっとかな。
- 財務課長（川崎芳則君） 議長、財務課長。
- 議長（能登谷正人君） 財務課長。
- 財務課長（川崎芳則君） 一応、固定資産税については、個人の財産ということで金額のほうを控えさせていただきたいと思います。
- 町長（岩村克詔君） 失礼しました。それくらいです。会社だからいいんじゃないの。
- 9番（三澤公雄君） わかりました。
- 11番（牧野 仁君） ちょっと確認です。
- 議長（能登谷正人君） 牧野君。
- 11番（牧野 仁君） 固定資産の話ですけども、税率ったら1.4%でしたっけ。例えば1億だったら年間140万とかそういう計算ですよ。
- 財務課長（川崎芳則君） はい。
- 11番（牧野 仁君） 分かりました。
- 議長（能登谷正人君） ほかにございませんか。
- 4番（横田喜世志君） 議長、横田。
- 議長（能登谷正人君） 横田君。
- 4番（横田喜世志君） この中には建物しか入ってないんですけども、これ底地は含まれるんですか。
- 町長（岩村克詔君） 議長、町長。

- 議長（能登谷正人君） 町長。
- 町長（岩村克詔君） 横田議員がおっしゃるとおり、底地も含まれております。底地には土地は入ってませんが、建物には消費税がかかるということで理解していただければと思います。底地も全部入っています。
- 4番（横田喜世志君） 議長、横田。
- 議長（能登谷正人君） 横田君。
- 4番（横田喜世志君） その土地の評価額はどのくらいなんですか。
- 町長（岩村克詔君） 議長、町長。
- 議長（能登谷正人君） 町長。
- 町長（岩村克詔君） 多分ですね、個人情報でありますので、ここでの発言を控えさせていただきます。
- 議長（能登谷正人君） ほかにございませんか。
- 14番（千葉 隆君） 議長、千葉。
- 議長（能登谷正人君） 千葉君。
- 14番（千葉 隆君） やっぱこの問題は医師住宅の問題じゃなくて、本質的には当時の特権的な院長に、ある程度権力を持たせたというのがこういう状況であって、元々自分たちで建てたほうがいいというのは町も思っていたと思うんですね。だからこの関係についてはこういうかたちで、解決するってわけではないけれども、努力して修復してきたという努力には経緯は表するんですけども、本質的な部分は反省していかなければならないなど。我々も駄目だ駄目だといって結局は賛成した結果になってるから、議会もある程度、駄目なものは駄目ということも必要だったんだなというふうに思うので、どちらがどうだということではなくて、お互いに、あまりにもすごいやり方というか、目に余る部分も当時あったと思うんですけども、そういうふうにならないようにやっていかないと、こういうふうな形に最終的に、結果としては圧縮して今までのツケを解消するという状況になってると思うんですけども、本質はちょっと違うと思うので、そこの部分は今後お互いに努力していかなければならないなという反省点も含めて、今回、この結果のほうが負担も少なくなるし良いなと思いますので、反省したいと思います。
- 3番（佐藤智子君） 議長、佐藤。
- 議長（能登谷正人君） 佐藤さん。
- 3番（佐藤智子君） 損する、得するっていうのもどうかと思いますけれども、これは20年間なので毎年5千万円くらいですから、20年間で10億という考え方だったんですよね。それでもしこれを一括で買ったら、得するとか、その支払う額の1億8千万が浮くだけとかそういうふうなんですよ。何故そのメンテナンスを最初に決めたまま相手方に預けるよりも今一括で買うことが得策なんですか。
- 町長（岩村克詔君） 議長、町長。
- 議長（能登谷正人君） 町長。
- 町長（岩村克詔君） 今、千葉議員さんからあったとおりですね、当時は我々も苦肉でゴーサインを出したという反省点を踏まえて、これからはこんなことがないようにしっかり

とやっつけていかなければならないという、本当に千葉議員さんがおっしゃっているとおりだと私は思います。

佐藤議員さんですね、たとえばこの15年経って、これをまたそういう不動産に売るとしても売れますので、私はですね、これ我々がこれから単純に年間5千万円ずつ15年払っても、またそれを医師住宅で借りるとしたらまたお金を払っていくということになりますので、もっとお金が出ていく。さらにこの住宅であるとだいたい20年くらいは大きなメンテナンスはかからないと思っていますので、その辺は、私は今が、もっと早くやればよかったんですけども、今やっとな話がついたということで、私は今言える最善策だと思っていますので、ご理解いただきたいと思います。

○議長（能登谷正人君） よろしいですか。

○9番（三澤公雄君） 議長、三澤。

○議長（能登谷正人君） 三澤君。

○9番（三澤公雄君） 千葉議員がおっしゃった部分が相当含んでいて、その時の議員であるならやっぱり理解しなければいけない部分があるかもしれない。僕も徹底抗戦したくて資料請求して当時の鈴木課長が丁寧にコピーですごい枚数のものを用意していて、メモまで用意して開示した。その中には早い段階で業者で、病院長が、自分は医療器械を5千万の権限があるからといって、賃料が5千万位内だからって借りてサインしている。だから町長が変わっても反対できなかった。そういった部分の本当に負のものがあるし、だから今回のこの解決策が今現状で考えるベストだと思うので、損得の解釈の違いでいろいろあると思いますけども、もう少し時間を分けてゆっくり計算したら、もっとメリットが分かると思います。

心情的には本当に憤りが今でも抑えられない人たちがいっぱいいると思うんですね。やられたということで。僕はよくぞここまで解決できたなと思っています。

○議長（能登谷正人君） そのほかありませんか。

ないようですので、以上で町長報告事項はこれで終わらせてもらいます。ご苦労様でした。

## ◎ その他

○議長（能登谷正人君） それでは、その他に移らせてもらいます。

その他の件はですね、前回、黒島副議長より皆さんに、2月16日の新聞報道に関しまして、報告があるということですので、副議長からお願いしたいと思います。

その前に、局長より報告をさせます。

○議会事務局長（三澤 聡君） それでは最初に事務局から、黒島副議長の弁護士からの報告書がございますので、その報告書を読み上げさせていただきます。

電波法違反の処分は、略式命令による罰金であり、黒島氏において令和3年4月12日付けで納付済みです。

違反の概要は、黒島氏の所有する船舶に無線送受信機が設置されていたところ、総務大臣の設置許可を受けていなかったというものでございます。無線送受信機を設置したのは黒島氏ではなく、前所有者であり、黒島氏は無線送受信機を使用したことはありませんので、

他人の権利侵害を伴わない形式犯となりますが、一罰百戒の趣旨で比較的軽微な罰金に処せられたものと理解されます。以上が報告書の内容でございます。

○議長（能登谷正人君） 弁護士からの報告書でございます。これにつきまして副議長からなにかありましたら。

○副議長（黒島竹満君） ただいま局長のほうから説明があったとおりですね、弁護士のほうから報告書ということですね、届きました。それを読み上げていただきました。

この間、皆様方におかれましては、大変ご迷惑をおかけいたしました。そしてまた、自分も本当に簡単な気持ちでという思いで、そのまま積みさっていたということでございますけれども、深く、本当に深く心より反省をしているところでございます。今後このようなことのないようにですね、しっかりと気を付けていきたいと思っております。このことにつきまして、報告があったとおり、12日に納付して終わっております。この件につきましてはこれで、まずは終わったということで報告させていただきます。今後とも皆様方のご理解をよろしくお願いいたします。お詫びのご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（能登谷正人君） ただいま副議長からご報告がありましたが、内容についてはよろしいですね。それでは皆さんよろしくお願いいたします。

また、議会の対応についてはですね、今後、議運等を開催しまして協議していただく予定でございますので、よろしくお願いいたします。

この件に関しましては、もうこれで決着済みということで判断してもらえれば大変ありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

以上で、全協を終わりたいんですけども、その他の部分で何か皆さんからありましたら、よろしくお願いいたします。皆さんのほうからなければ事務局のほうから。ないですね。

それでは事務局のほうから何点か報告がありますので。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） 議長、議会事務局庶務係長。

○議長（能登谷正人君） 係長。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） それでは、議会事務局のほうから一件ご報告させていただきます。

毎年、この春先に行われています、北海道の議長会主催の議員研修会が札幌市で行われています。それに併せて議員会のほうも研修を行っているんですけども、現在の新型コロナウイルスの状況を鑑みまして、まず、議員会のほうの研修につきましては、先ほど役員会を開催いたしまして、本年については見送ることとしております。また道議長会からのほうからはですね、現在、議員研修会につきまして、意向調査が来ておりまして、開催すれば出席するかどうかという調査が来ています。事務局といたしましてはこうした状況を見ましてですね、八雲町としては、もし開催されても欠席したいということで報告したいと思いますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。以上でございます。

○議長（能登谷正人君） 以上で、報告がありましたけれども、何かご質問がありましたら。

それでは今年もコロナの関係で研修会あるいは勉強会等々を中止させていただきます。よろしくお願いいたします。

以上、なければ、第3回全員協議会を終わらせていただきます。ご苦勞様でした。

[ 閉会 午前10時56分 ]